

答えでみよう！

保 育 所
学 校

子どもたちの教育環境改善を！

追跡
レポート

【答申内容】

◎適正規模を図るための学校統合に関する事項

1. 長陽中学校区3小学校の学校統合は必要であること
2. 同小学校の統合方法は長陽小学校の校地校舎を活用することが望ましいこと
3. 統合次期としては、平成24年4月の開校を目指すこと

◎学校の耐震化・教育環境の整備に関する事項

1. 学校施設の耐震化を推進すること

◎付帯事項

1. 保護者や地域住民に説明を行い、理解と協力を得ること
2. 子どもたちの通学手段として、スクールバス等の支援や通学費について負担を生じないよう配慮すること。また、通学

路の安全対策を講じること

3. 統合に伴う学校施設等の利用については、施設の状況や地域の方々の意見を充分考慮しながら、有効利用が図られるよう検討すること
4. 専門部会の設置により、教育課程や学校行事等の検討、児童の交流、通学の支援策、充実した施設整備等を図るために、十分に検討をすること

※答申の「終わりに」という書き出しで、子どもたちへもたらし影響、学校運営上の問題を様々な視点から検討した結果、南阿蘇村立小・中学校のより良い教育環境の向上を図るため学校統合は避けて通れないことを認識し慎重に審議を重ねてきた結果との記載があり、審議の過程で



は白水中学校区3小学校の統合や、3中学校の統合問題についても十分検討すべき問題であると示されている。
広報委員会としては、今後の動きについても随時調査し住民の皆様方にお知らせしていこうと考えています。

南阿蘇村適正規模等審議会（会長＝藤岡教育長・委員は伊藤文教厚生常任委員長以下6人、学校教育指導委員2人、教育長を含む行政職員6人の計15人で構成）は平成18年5月に教育委員会より諮問を受けた、南阿蘇村立小中学校における適正規模・適正配置を図るための学校統合に関する事項・並びに教育環境に関する事項についての答申を、平成21年12月14日付けで高橋教育委員長に答申しました。答申の主な内容は左記のとおりです。